

議員定数は削減せず

上砂川商工会 町議会が「不採択」

【上砂川】上砂川町議会は16日に開会した町議会定例会で、6月に上砂川商工会議所が町議会に要望を挙げた「上砂川町議会の活性化並びに議員定数の削減」について不採択とした。同町議会は現行定数9人だが、会議所は「複数人以上の削減」と少なくとも2人以上の削減を要望していた。定例会では削減賛成が1人、削減反対7人で「削減しない」方針を決めた。

上砂川商工会議所からの要望では▽直近の選挙で2回連続で無投票▽平成23年以降の2年間にわたり、2人の町議会議員が病気療養で欠席が続いていたが議会運営に支障がなかった▽議員定数の削減を行いその分で待遇改善を図ることが大切

付けて世代交代が進んでいないの主張はあたるらない▽自ら身を削る改革を地方議会に求めるのは理解がたい▽無投票選挙は残念な結果だが、無投票を理由に議員定数を減らした場合、必要な議員数の検討がされることなく、無制限に削減することにつながるがねない▽住民との接点の多様化を失う▽行政監視機能が低下する一などとして全員一致で「不採択」の結論に至った。ただ、付帯意見として「時期町議選に向けて、全議員による協議機関の設置」を付け加え、

今後の検討余地も残している。

16日に開かれた町議会定例会では、横溝委員

員長が「不採択」とした審査結果を報告。これを受け、吉川洋議員が「不採択」の賛成討

論 高橋成和議員が「不採択」の反対討論を行って、堀内哲夫議長を除く8人の議員で採決。その結果、「不採択賛成」（つまり議員削減反対）は7人、「不採択反対」（つまり議員削減賛成）は高橋議員1人のみで、議員定数の削減は行わないことを決めた。

た岩淵健悦会頭は「会議所では大多数の町民の声を受け要望として提出したが、町議会でまともに話に乗ってもええなく、本当に残念。隣の歌志内でも8人なのに、このままでいいのか。町民をまきこんで運動することも考えたい」と話している。現行議員の任期は29年2月まで。